



広い空 未来につなぐ えがおの南山幼稚園

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

令和7年11月27日

November 27, 2025

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

# 12月園だより



## 思いの先にあるものを目指して

園長 河合 晴美

11月は、新しくなった園庭で子どもたちが伸び伸びと遊び、暖かな日差しのある日は、トンボやチョウもやってきました。保護者の皆さまには、幼稚園公開や心の子育て講座(佐々木 洋先生)、緑育と幼稚園に来園していただき、誠に感謝申し上げます。運動会後成長した子どもたちそれぞれの姿をご覧いただきました。感想もお寄せいただき、ありがとうございました。

本園は、子どもたちが自然と豊かに関わる中で「探究する姿」を培うことに取り組んでいます。先日の佐々木 洋先生とのフィールドワークでは、子どもたちが佐々木先生にお聞きする質問をたくさん考え待っていました。そして、積極的に質問する内容を聞いていると5歳児は、「なんで、カマキリは暗い所にいると目が黒くなるの?」「なんでカメムシは、臭いものを出すの?」といった事実や実体験で得たことに対して疑問を抱いていることが分かりました。また、4歳児からは「虹色の生き物(日本トカゲのしっぽから)を捕まえるにはどうしたらいいの?」と自分の願望を叶えるための質問をしていました。今まで親しみ、関わることで得た嬉しさや楽しさの経験は、着実に子どもたちの中で変化してきました。対象となる生き物に対して様々な思いを巡らし、得た知識や考えは、今後さらに次の段階へとつながっていくことでしょう。とても楽しみです。

また、緑育では、自然を取り巻く樹木にも興味・関心が抱けるように活動を行いました。身近にある樹木に注目し興味、関心を持ち、そこから得られる様々な恩恵を知り、自然の力に対し心を寄せられる人になって欲しいと考えています。また、それらの思いが次世代へ「緑の大切さ」として伝えられることを願っています。

子どもたちの「なぜ」や「へえ～おもしろい」などという思いに私たちも共感し、その先にある「こと」にたどり着きたいと思っています。3歳児が、毎日うれしそうに葉や実を集めています。そして、集めたものを大事に飾ったり、繰り返し並べたりしています。4歳児は、緑のカーテンのところにいたエビガラスズメを土の中ではなく(さなぎになるときに土にもぐる)みんなが見える形で羽化させました。考える力は、体験や感情に基づき発揮され、深まります。子どもたちが抱いた思いは、今後どのように新たな経験へとつながっていくのか、私たちは見守りながら、さらに思いや考えを導き楽しむことで豊かな体験につなげていきます。



<3歳児 緑育活動>



<4歳児 飼育物の変化>



<5歳児 自然探検隊!>

